

電車

宮沢賢治

青空文庫

第一双の眼めの所有者

(むしやくしやしした若い古物商。紋付と黄の風呂敷ふうろしき)

第二双の眼の所有者

(大学生。制服制帽。大きなめがね。灰色ツツクの提さげかばん鞆たもと)

第一双の眼(いや、いらつしやい、今日は。よいお天気でござい
ます。)

第二双の眼(何を晒わらってやがるんだ。)

(失礼いたしました。へいへい。えゝと、あなたさまはメフィス
トさんのご息さん。今日はどちらへ。)

(何だ失敬な。)

(あ、左様で。あ、左様でございましたか。

これはどうもまことに失礼いたしました。たいへん飛び乗りがお上手でいらつしやいます。)

(まだ何か云いつてるのかい。失敬ぢやないか。)

(さうさう。あなたはメフィストさんとはアウエルバツハ以来お仲がよろしくないのですな。ついおなりがそつくりなもんですから、まあちよつと相似形、さやう、ごく複雑な立体の相似形といふやうにお見受けいたしましたもんですから。いや、どうもまことに失礼いたしました。)

(気を付けろ。間抜けめ。何だそのにやけやうは。)

（へいへい。なあにどうせ私などはへいへい云ふやうにできてるんですから。いや。それにしてもたゞ今は又もやとんだ無礼をはたらきました。ひらにひらにご容赦と。ところでお若いのにそのまん円な赤い硝子のべっ甲めがねはいかがでせうか。いかゞなもんでございませう。な。）

（気持ちの悪いやつだな。この眼鏡かい。この眼鏡かい。おれは乱視だから仕方ないさ。）

（あつ、ああ、なる程乱視。乱視でしたか。いや、それならば仕方ござんせん。なるほど、なるほど。とにかくしかしそれにしてもと、あんまりお帽子の菱がたが神経質にまあ一寸詩人のやうに鋭く尖つていささかご人体にかゝはりますが、）

(えい、畜生まだ何か云ってやがる。何だ、きさまの眼玉は黄いろできよろきよろまるで支那しなの犬のやうだ。ははあおれはドイツできさまの悪口を云ってやる。判わかるかい。

〃 [Was fur ein Gesicht du hast !] 〃 おや。)

(何だと。〃 [Nein, mein Ju:ngling, sage moch einmal, was fur ein Gesicht du machst !] 〃

そっちの方で判るかい。おまへのやうな人道主義者は斯かう云ふもんだ。hastでは落第だよ。)

(ふん。支那人と思ったらドイツとのあひの子かい。)

(いゝえ。どう致しまして。お前こそ気をつけろよ。自慢らしくドイツなどをもち出したからこんなもんさ。へん。お前なんか気

の毒な鼠ねずみの天ぷらだ。）

（まだ見てるのかい。よくよく執念深いやつだ。夫婦喧嘩ふうふけんくわの飛ばくつちりはよして呉くれ。）

（へい。ちとお遊びに。）

（又こつとにやけてやがる。どうせきさまは周旋屋か骨董屋こつとうだらうぜ。そこでな、おれが判事になったとき丁度めぐり合ふとしようか。

ああもう降りるか。えゝと落ちぶれた成金さんによろしく。）

（さよなら。ひよっこさん。大きなまちの挨拶ほこりの中だ。くるくる廻まわつてへたばらないやう御用心。）

（えい。勝手にしろ。お別れにたゞ一言ご忠告いたします。電車がとまってからお降りなさいだ。）

（
フ
イ。
）

青空文庫情報

底本：「新修宮沢賢治全集 第十四巻」筑摩書房

1980（昭和55）年5月15日初版第1刷発行

1983（昭和58）年1月20日初版第4刷発行

※（ ）の行が2行以上に及ぶ場合は、1字さげになっています。

※本作品中には、身体的・精神的資質、職業、地域、階層、民族などに関する不適切な表現が見られます。しかし、作品の時代背景と価値、加えて、作者の抱えた限界を読者自身が認識することの意義を考慮し、底本のままとしました。（青空文庫）

入力：林 幸雄

校正・・mayu

2003年1月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

電車

宮沢賢治

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>